



TOKYO 2020

東京 2020

オリンピック・パラリンピック競技大会

周波数申請ガイド

2020年 12月 21日 第2版

(2019年 2月 1日 第1版)

改版履歴

版数	発行日	改訂内容
1.0	2019年2月1日	初版発行
2.0	2020年12月21日	2版発行 大会延期のため

目次

1. はじめに	1
1.1 無線機器の利用	1
1.2 目的	1
1.3 無線機器の使用承認の流れ.....	2
2. 周波数申請手続きについて	3
2.1 申請方法.....	3
2.2 申請項目.....	6
2.2.1 ユーザー情報	6
2.2.2 レコードタイプ	6
2.2.3 申請周波数情報	7
2.2.4 誓約事項.....	12
2.3 申請期間.....	13
2.4 結果通知／確認	13
2.5 既に日本の免許を持っている場合	13
2.6 承認手続きが不要な無線機器	14
2.7 周波数利用申請に関する問合せ先	14
3. 無線機器使用にあたっての留意事項	15
4. その他	17
◆ FAQ (Frequently Asked Questions)	18

1. はじめに

1.1 無線機器の利用

第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 及び東京 2020 パラリンピック競技大会 (以下「東京 2020 大会」という。) は、2020 年 3 月 24 日の大会延期決定を踏まえ、それぞれ、大会延期により、2021 年 7 月 23 日～8 月 8 日及び 2021 年 8 月 24 日～9 月 5 日までの間に開催されます。

東京 2020 大会で、ユーザーが効率的に無線機器を利用するには、無線機器の利用計画、事前調整が不可欠です。大会で利用する全ての無線機器は、有害な混信を避けるため、周波数調整と承認を受ける必要があります。機器をベニユー内に持ち込む場合には公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 (以下「組織委員会」という。) の事前の承認が必要となります。また、無線機器の運用には日本の免許が必要です。この手続きは、組織委員会が行います。

なお、既存の日本の免許を持っている場合でも、東京 2020 大会での利用には組織委員会の事前の承認が必要となります。

また、開催都市である東京は、日本経済の中心であり産業活動が集中し、既に多くの電波が使用されており、周波数の割当てが極めて難しい状況となっています。そのため、無線機器の利用は必要最小限となるようにお願いします。

1.2 目的

この周波数申請ガイドは、東京 2020 大会期間中にベニユー内で無線機器を利用するために必要な周波数申請手続きの詳細情報を周知することを目的として発行しています。

組織委員会では、周波数割当ての可能性のある周波数帯、周波数申請手順、周波数申請スケジュール等を具体的に示した「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 周波数管理計画」(以下「周波数管理計画」という。) を 2018 年 7 月 17 日に策定しています。

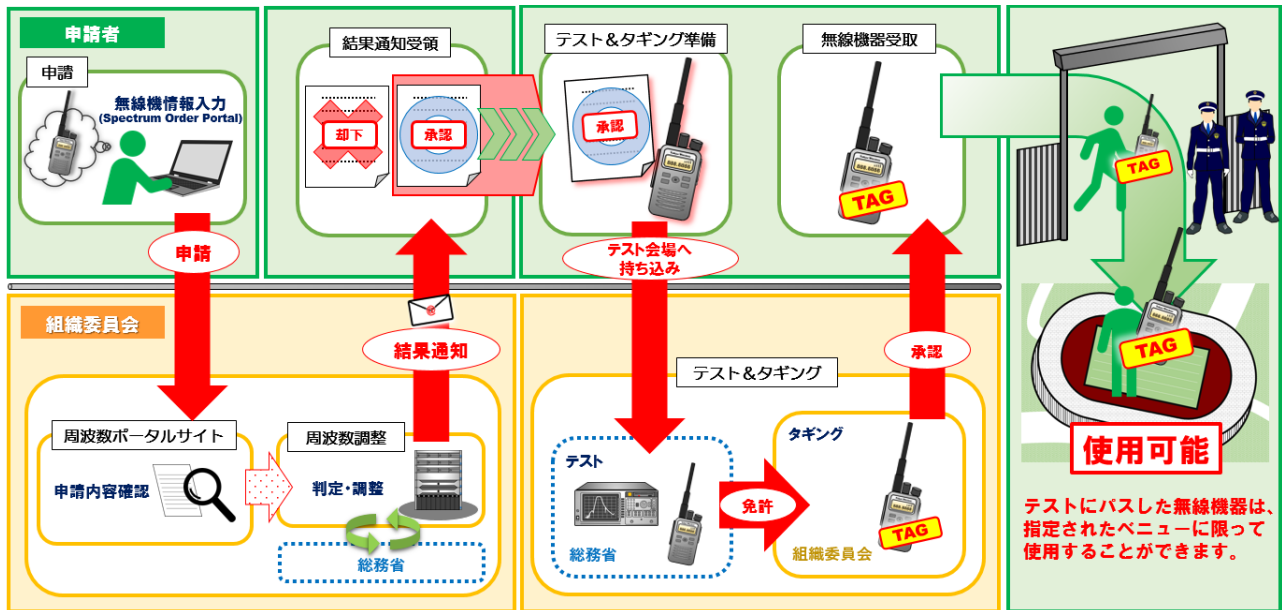
周波数割当ての可能性のある周波数帯については、周波数管理計画を参照ください。

<https://gtimg.tokyo2020.org/image/upload/production/gawii8lr5atdtdgmdwbn.pdf>

1.3 無線機器の使用承認の流れ

周波数申請から無線機器が利用可能となるまでの全体の流れは以下のとおりです。

この周波数申請ガイドでは、周波数申請から結果通知までの内容について記載しています。既に日本の無線局免許を取得している無線機器をお持ちの場合も、周波数申請は実施してください。



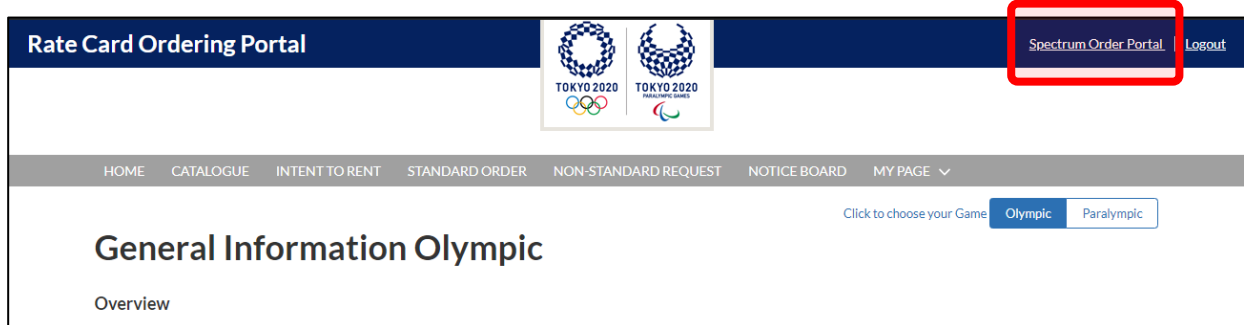
2. 周波数申請手続きについて

2.1 申請方法

周波数利用申請は、Spectrum Order Portal（以下、SOP という。）より申請してください。SOP はレートカードポータルシステム内にあります。レートカードポータルシステムの画面上部にある「Spectrum Order Portal」をクリックしてください。

（申請には、レートカードポータルシステムのアカウントが必要となります。）

なお、一申請で一つの周波数が割り当てられます。複数の周波数が必要であれば、その数だけ申請を行ってください。



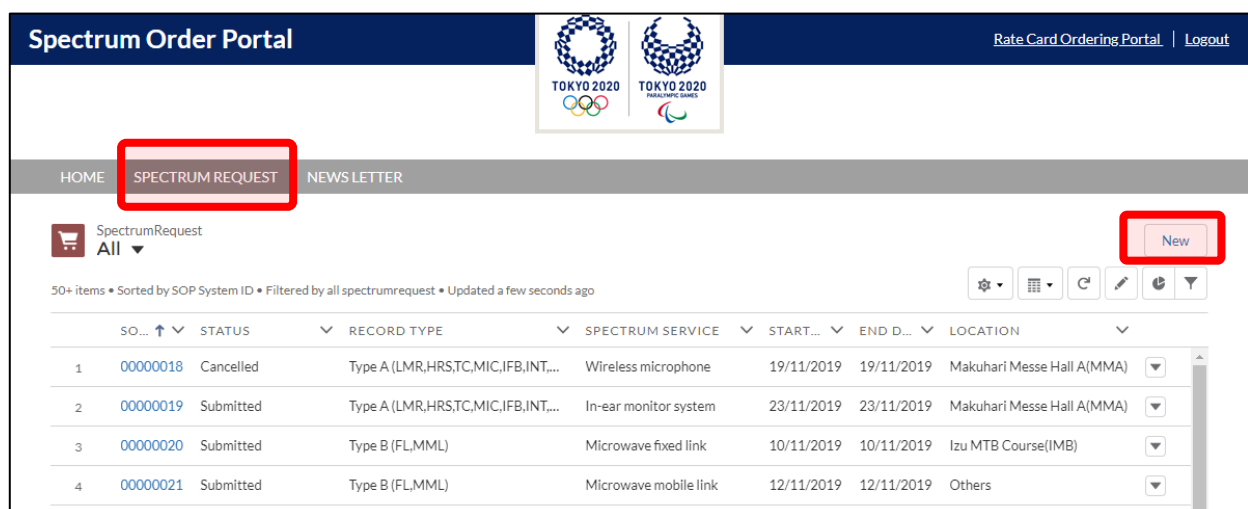
申請方法には、SOP 上からの直接入力による個別申請とスプレッドシート提出による一括申請の2通りあります。

➤ SOP 上からの入力による個別申請

SOP の周波数申請画面内にある入力フォームより必要事項を入力し、申請を行います。申請項目の詳細は 2.2 項を参照ください。

申請手順は以下のとおりです。

1. SOP にログイン後、「Spectrum Request」画面内の「NEW」をクリックする。



2. 申請する機器のレコードタイプを選択する。

※レコードタイプの詳細は 2.2.2 項参照

Spectrum Order Portal

Rate Card Ordering Portal | Logout

HOME SPECTRUM REQUEST NEWS LETTER

SpectrumRequest All

50+ items • Sorted by SOP System ID • Filtered

SO...	↑ ↓	STATUS
1	00000018	Cancelled
2	00000019	Submitted
3	00000020	Submitted
4	00000021	Submitted
5	00000022	In progress
6	00000023	Submitted
7	00000024	In progress
8	00000025	Submitted

LOCATION

Makuhari Messe Hall A(MMA)

Makuhari Messe Hall A(MMA)

Izu MTB Course(IMB)

Others

Izu MTB Course(IMB)

Olympic Stadium(OLS)

Izu MTB Course(IMB)

Olympic Stadium(OLS)

New SpectrumRequest

Select a record type

- Type A (LMR,HRS,TC,MIC,IFB,INT,WC)
- Type B (FL,MML)
- Type C (PES)
- Type D (TES)
- Type E (WLAN)
- Type F (DSC)

Cancel Next

3. 必要事項を記入して保存する。

※申請項目の詳細は 2.2.3 項参照

Spectrum Order Portal

Rate Card Ordering Portal | Logout

HOME SPECTRUM REQUEST

SpectrumRequest All

50+ items • Sorted by SOP System ID • Filtered

SO...	↑ ↓	STATUS
1	00000018	Cancelled
2	00000019	Submitted
3	00000020	Submitted
4	00000021	Submitted
5	00000022	In progress
6	00000023	Submitted
7	00000024	In progress
8	00000025	Submitted
9	00000026	
10	00000027	
11	00000028	Granted authorisation

LOCATION

Makuhari Messe Hall A(MMA)

Makuhari Messe Hall A(MMA)

Izu MTB Course(IMB)

Others

Izu MTB Course(IMB)

Olympic Stadium(OLS)

Izu MTB Course(IMB)

Olympic Stadium(OLS)

New SpectrumRequest: Type A (LMR,HRS,TC,MIC,IFB,INT,WC)

General Information

*Spectrum service
--None--

Usage Period

*License Period
--None--

*Start Date
[Calendar icon]

*End Date
[Calendar icon]

*Location
--None--

Location detail (Others)

Requested frequency band

*Preferred Receive frequency(MHz)

*Preferred Transmit frequency(MHz)

*Tuning range From(MHz)

*Tuning range To(MHz)

Cancel Save & New Save

2.2 申請項目

2.2.1 ユーザー情報

ユーザー情報の入力項目は以下になります。

各項目は、レートカードポータルシステムのアカウント情報を記載してください。

スプレッドシート（Ver3.0）では、Stakeholder Group の記載項目があります。

表 2.2.1 ユーザー情報

項	申請項目	内容
1	Country (国名)	ユーザーの国名
2	Stakeholder Group(所属カテゴリー)	ユーザーの所属カテゴリー(RHB, Press など)
3	Organization (所属組織)	ユーザーの所属組織
4	Contact Name (ユーザー名)	ユーザーの名前
5	Contact Email (メールアドレス)	ユーザーのメールアドレス

2.2.2 レコードタイプ

申請項目は、レコードタイプにより決まっています。レコードタイプと申請する無線機種タイプとの対応は以下のようになっています。

表 2.2.2 レコードタイプ

レコードタイプ	無線機種タイプ
Type A	Land mobile radio [LMR]
	Handheld radios (walkie-talkie) [HRS]
	Telemetry and telecommand [TC]
	Wireless microphone [MIC]
	In-ear monitor system [IFB]
	Talkback (Intercom) [INT]
	Wireless camera [WC]
Type B	Microwave fixed link [FL]
	Microwave mobile link [MML]
Type C	Permanent earth stations [PES]
Type D	Transportable earth stations [TES]

Type E	Wireless LAN [Wi-Fi]
Type F	Digital Still Camera [DSC]

2.2.3 申請周波数情報

申請する周波数情報の申請項目は以下になります。

申請は、使用する期間を決める Licence Period を選択する必要があります。スプレッドシートは、必ず最初に Licence Period を選択してください。

Licence Period は、Olympic, Paralympic, Olympic Ceremony, Paralympic Ceremony の4種類があります。それぞれ Start Date と End Date が決められていますので、表 2.2.3 申請項目一覧に記載されている日付を記載してください。スプレッドシートは、Licence Period を入力すると自動的に日付が表示されます。

Olympic から Paralympic で連続で使用する場合でも、Licence Period を Olympic と Paralympic それぞれの作成して申請してください。

特別な事情で日付を変更する必要がある場合は、Applicant's Remarks に理由を記載してください。

Olympic Ceremony, Paralympic Ceremony は、Olympic Stadium (OLS)で行われる Opening Ceremony, Closing Ceremony, rehearsalなどが対象となります。Start Date と End Date は、Olympic Ceremony は Olympic, Paralympic Ceremony は Paralympic と同一となります。日時などで運用を切り替えることとなります。

表 2.2.3 申請項目一覧

項	申請項目	内容	レコードタイプ					
			A	B	C	D	E	F
1	Licence Period (ライセンス期間)	<p>希望する使用期間 (Olympics, Olympic Ceremony, Paralympics, Paralympic Ceremony) をリストの中から選択する</p> <p>スプレッドシートは、Start Date と End Date は、選択した Licence Period の標準の日付が表示される。Location は、選択した Licence Period に競技を開催するベニューが選択リストに提示される。</p>	●	●	●	●	●	●
2	Start Date (使用開始日)	<p>希望する使用開始日を入力する</p> <p>Olympic, Olympic Ceremony は、2021 年 6 月 24 日を入力する</p> <p>Paralympic, Paralympic Ceremony は、2021 年 8 月 10 日を入力する</p> <p>スプレッドシートは、Licence Period を選択すると、日付が自動的に記載される。</p> <p>特別な理由が有る場合に限り、Applicant's Remarks に理由を記載の上、直接入力することができる。</p>	●	●	●	●	●	●
3	End Date (使用終了日)	<p>希望する使用終了日を入力する</p> <p>Olympic, Olympic Ceremony は、2021 年 8 月 10 日を入力する</p> <p>Paralympic, Paralympic Ceremony は、2021 年 9 月 10 日を入力する</p> <p>スプレッドシートは、Licence Period を選択すると、日付が自動的に記載される。</p> <p>特別な理由が有る場合に限り、Applicant's Remarks に理由を記載の上、直接入力することができる。</p>	●	●	●	●	●	●

項	申請項目	内容	レコードタイプ					
			A	B	C	D	E	F
4	Location (使用場所)	希望する使用ベニューを選択する Olympic Ceremony と Paralympic Ceremony は、Olympic Stadium (OLS)のみが対象ベニューとなる スプレッドシートは、Licence Period を選択することにより対象となるベニューが選択リストに提示される。 ※「Others」選択時は「Other Location」欄に希望ベニューまたは、建物名、住所などを入力する	●	●	●	●	●	●
5	Spectrum service (無線機種タイプ)	申請周波数の無線機種タイプをリストの中から選択する	●	●	●	●	●	●
6	Preferred frequency TX (MHz) (希望送信周波数)	希望する送信側の中心周波数を入力する TalkBackなどで複数の周波数を組み合わせて使用する場合(全二重など)は、Applicant's Remarksに組み合わせる装置が明確になるように説明を入力する。	●	●	●	●	-	-
7	Preferred frequency RX (MHz) (希望受信周波数)	希望する受信側の中心周波数を入力する	●	●	●	●	-	-
8	Tuning range Transmit From (MHz) (要求送信周波数帯/調整幅(下限))	調整可能な送信周波数帯域幅(下限)を入力する	●	●	●	●	-	-
9	Tuning range Transmit To (MHz) (要求送信周波数帯/調整幅(上限))	調整可能な送信周波数帯域幅(上限)を入力する	●	●	●	●	-	-
10	Tuning range Receive From (MHz) (要求受信周波数帯/調整幅(下限))	調整可能な受信周波数帯域幅(下限)を入力する	●	●	●	●	-	-
11	Tuning range Receive To (MHz) (要求受信周波数帯/調整幅(上限))	調整可能な受信周波数帯域幅(上限)を入力する	●	●	●	●	-	-
12	Preferred frequency (MHz) (希望周波数)	希望する中心周波数を入力する	-	-	-	-	●	-

項	申請項目	内容	レコードタイプ					
			A	B	C	D	E	F
13	Channel size (kHz) (チャンネル帯域幅)	申請周波数のチャンネル帯域幅（占有周波数帯域幅）を入力する ※図 2.2.3 参照	●	●	●	●	●	-
14	Channel tuning step (kHz) (チャンネル間隔)	申請周波数の設定可能なチャンネル間隔を入力する ※図 2.2.3 参照	●	-	-	-	-	-
15	Maximum transmit power (W) (最大送信電力)	申請無線機器の最大送信電力を入力する	●	●	-	-	●	-
16	Usage type (使用タイプ)	申請無線機器の室内/屋外等の使用タイプをリストの中から選択する	●	●	-	-	●	●
17	Frequency and maximum transmission power (周波数及び最大出力)	申請周波数と最大出力をリストの中から選択する ※Wireless release Trigger または Wireless file transmitter (Digital still camera – Accessory)の申請時のみ必要	-	-	-	-	-	●
18	Number of identical wireless devices (同一装置数)	申請周波数を共用する無線機器数を入力する	●	-	-	●	●	●
19	Location B (使用場所 B)	Microwave link の使用ベニューB を選択する ※「Others」選択時は「Other Location B」欄に希望ベニューを入力する	-	●	-	-	-	-
20	Duplex (全二重)	申請無線機器の全二重有無を入力する	-	●	-	-	-	-
21	Antenna gain (dBi) (アンテナ利得)	申請無線機器のアンテナ利得を入力する	-	●	●	-	-	-
22	Antenna half power angle (degrees) (アンテナ半値角)	申請無線機器のアンテナ半値角を入力する	-	●	●	-	-	-

項	申請項目	内容	レコードタイプ					
			A	B	C	D	E	F
23	Satellite name (衛星名)	対向衛星名を入力する	-	-	●	●	-	
24	Maximum transmit power (EIRP) (W) (最大送信電力(EIRP))	申請無線機器の最大送信電力(EIRP)を入力する	-	-	●	●	-	-
25	Antenna diameter (m) (アンテナ直径)	申請無線機器のアンテナ直径を入力する	-	-	●	-	-	-
26	Antenna height above ground (m) (地表面からのアンテナ高)	申請無線機器の地表面からのアンテナの高さを入力する	-	-	●	-	-	-
27	Wi-Fi standard (Wi-Fi 規格)	申請無線機器の Wi-Fi 規格をリストの中から選択する ※Type F は、Wireless file transmitter (Digital still camera - Accessory)の申請時のみ必要	-	-	-	-	●	●
28	Manufacturer (メーカー名)	持ち込みたい無線機器のメーカー名を入力する	●	●	●	●	●	●
29	Model name (メーカー機種名)	持ち込みたい無線機器のメーカー機種名を入力する ※モデル名で帯域(Band)を示すサフィックスがある場合は、必ず、モデル名にはサフィックスまで記述すること	●	●	●	●	●	●

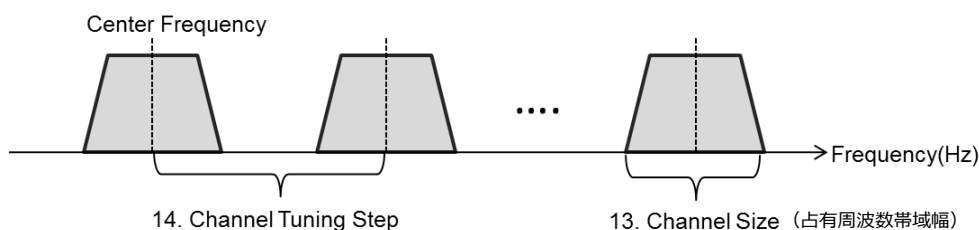


図 2.2.3 チャンネル間隔とチャンネル帯域幅

2.2.4 誓約事項

レコードタイプ F のデジタルスチルカメラの申請時に誓約事項の確認が必要となります。
誓約事項に同意いただけない場合、申請は認められません。ご注意ください。

誓約事項は以下になります。

表 2.2.4 誓約事項

Declaration (誓約事項)		対象スペクトルサービス
A	I will not enable the “Wireless LAN” function on this device. (この機器で無線 LAN 機能を使用しません)	Wireless file transmitter (Digital still camera – Body)
B	I will use ONLY 5GHz band Wireless LAN data transmission function which is conformed to the specification described on “Spectrum Management Plan” and will NOT use any other band nor any other transmission method. (周波数管理計画に準拠した 5GHz 帯の無線 LAN データ伝送機能のみを使用し、その他の周波数帯や伝送機能は使用しません)	Wireless file transmitter (Digital still camera – Accessory)
C	I will use this device ONLY AS A “Wireless LAN CLIENT MODE” and will NOT enable a “Wireless LAN access point mode” on this device. (無線 LAN クライアントモードでのみ使用し、無線 LAN アクセスポイントモードは使用しません)	Wireless file transmitter (Digital still camera – Accessory)

2.3 申請期間

申請期間は以下になります。

表 2.3 申請のスケジュール

申請受付	申請受付期間	通知スケジュール
最終受付	2021年2月1日～2021年9月5日	2021年5月1日以降

1次受付、2次受付、最終受付の停止前（2020年4月2日）までに受け取った申請は、2020年12月までに結果を通知します。

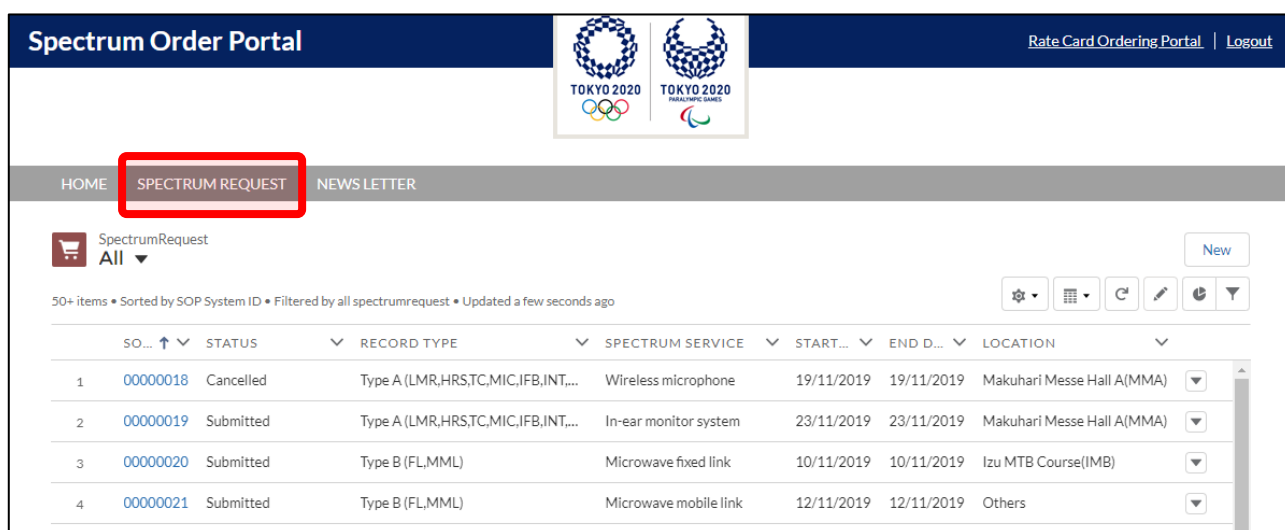
最終受付は、緊急用の申請期間となります。1次受付および2次受付の割当て完了後の周波数を割当てます。希望する周波数の割当ては保証されません。

大会延期後の最終受付は、2021年2月1日から再開いたします。

2.4 結果通知／確認

周波数調整が完了し、仮承認結果が出ましたら、結果通知がメールで通知されます。

仮承認結果は、SOPにログイン後、「Spectrum Request」画面からも確認できます。



The screenshot shows the 'Spectrum Order Portal' interface. At the top, there are logos for 'TOKYO 2020' and 'TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES'. Below the navigation bar, the 'SPECTRUM REQUEST' tab is highlighted with a red box. The main content area displays a table of spectrum requests with columns for SO..., STATUS, RECORD TYPE, SPECTRUM SERVICE, START..., END D..., and LOCATION. The table contains four rows of data:

SO...	STATUS	RECORD TYPE	SPECTRUM SERVICE	START...	END D...	LOCATION
00000018	Cancelled	Type A (LMR,HRS,TC,MIC,IFB,INT,...)	Wireless microphone	19/11/2019	19/11/2019	Makuhari Messe Hall A(MMA)
00000019	Submitted	Type A (LMR,HRS,TC,MIC,IFB,INT,...)	In-ear monitor system	23/11/2019	23/11/2019	Makuhari Messe Hall A(MMA)
00000020	Submitted	Type B (FL,MML)	Microwave fixed link	10/11/2019	10/11/2019	Izu MTB Course(IMB)
00000021	Submitted	Type B (FL,MML)	Microwave mobile link	12/11/2019	12/11/2019	Others

2.5 既に日本の免許を持っている場合


既存の日本の免許を持っている場合でも、東京2020大会での利用には組織委員会の承認が必要となります。SOPより周波数利用申請を出してください。

2.6 承認手続きが不要な無線機器

日本国内での免許、日本国外における免許の有無にかかわらず、全ての無線機器は、原則として組織委員会の承認手続きが必要となりますが、以下の無線機器は承認手続きが不要となります。

- ・ 日本の電気通信事業者によりサービスが提供される携帯電話、サービスを利用した無線機器（IP 無線機など）
- ・ 日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合する携帯電話であって、海外から持ち込んだ者が国際ローミング又は日本国内の電気通信事業者のSIMカードにより使用するもの
- ・ 日本の電波法に規定する技術基準に適合することが証明された適合表示無線設備[※]の小電力データ通信システムの無線機器子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの 例:Wi-Fi 又は Bluetooth）

ただし、当該無線機器であっても競技会場、放送関連エリア、MPC、IBC や選手村など一部の特定エリアについては、組織委員会の承認手続きが必要となります。また、ワイヤレスファイルトランスミッターについては、使用するエリアにかかわらず、承認手続きが必要となります。

※日本の電波法で定めている技術基準に適合している無線設備（ このマークが付されている）

- ・ 日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合する小電力データ通信システムの無線機器子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの）であって、外国から日本に入国してから 90 日を超えない範囲で利用されるもの（例:FCC 認証や CE マークが付されていて、かつ Wi-Fi Alliance 又は Bluetooth SIG のロゴ等が付されたもの）

ただし、当該無線機器であっても競技会場、放送関連エリア、MPC、IBC や選手村など一部の特定エリアについては、組織委員会の承認手続きが必要となる場合があります。また、ワイヤレスファイルトランスミッターについては、使用するエリアにかかわらず、承認手続きが必要となります。

2.7 周波数利用申請に関する問合せ先

周波数利用申請に関する問合せ先は以下になります。

spectrum@tokyo2020.jp

3. 無線機器使用にあたっての留意事項

以下、周波数申請及び実際の無線機器の使用にあたっての留意事項を示します。なお、詳細については、周波数管理計画を参照ください。

○ 業務用無線

- ・ 送信電力は 1W 以下が適当で、特別な場合でも 5W 以下としてください。
- ・ 組織委員会が提供する携帯電話または PMR サービスを利用するステークホルダーは、周波数申請手続きが不要であること、および PMR で使用する周波数帯は、高い需要が想定されることから、携帯電話又は組織委員会が提供する PMR サービスの利用を推奨します。
- ・ トークバックシステム（インターカム）やテレメトリ・テレコマンド・小容量のデータ伝送等と周波数を共用する場合があります。

○ ワイヤレスマイク/イヤーマニタ（IEM）

- ・ できるだけ有線マイクを利用し、ワイヤレスマイクは真に有線マイクが困難な場合のみにしてください。
- ・ 屋外では、ワイヤレスマイク/IEM の利用を可能な限り避けてください。
- ・ 被干渉に強いとされるデジタル方式のワイヤレスマイク/IEM をできるだけ利用してください。
- ・ 714MHz 以上の周波数帯を使用する場合には、携帯電話システムの周波数の隣接で使用するケースが多いことに留意し、携帯電話基地局や観客席からの適切な離隔距離を確保してください。

○ ワイヤレスカメラ

- ・ できるだけ有線のカメラを利用し、ワイヤレスカメラの利用は有線のカメラが利用できない場合のみにしてください。
- ・ 需要の高い 4GHz 帯以下の周波数の利用に当たっては、高性能フィルタを利用してください。
- ・ 2GHz-4GHz の周波数の利用に当たっては、携帯電話システムの周波数を隣接で使用するケースが多いことから、携帯電話基地局や観客席からの適切な離隔距離を確保してください。

○ 衛星通信

- ・ 衛星通信の周波数については、周波数のみならず、軌道位置、電波の放射方向や電波強度の密度等について ITU（国際電気通信連合）の規定にもとづく国際的な調整が必要であり、日本を含む東アジアにおいては既に多くの衛星が詳細な国際調整を踏まえて運用されていることから、特別の条件による衛星通信の利用には困難が見込まれます。
- ・ 衛星通信を利用する以外に手段がない場合には、日本国内相互間の通信、国際的な通信いずれについても、できる限り既に日本国内で通信事業を行っている企業のサービスを利用してください。この場合において、使用する衛星や使用する周波数帯の利用の条件は、できる限りそれら企業が通常のサービスとして現に提供しているメニューを利用してください。
- ・ 5850-7075MHz 帯の周波数については、日本国内においては、多くの固定通信用の無線局で使用されているため、固定衛星通信送信局の設置は、これらの無線局に干渉を与えないことが確認された場合に限り可能とします。
- ・ 3600-4200MHz 帯の周波数については、2019 年 4 月に日本国内で第 5 世代移動通信システム（5G）への周波数の割当てが行われました。5G からの干渉を回避するためには数 km から数十 km 離隔をとる必要があり、東京エリアを中心とした会場周辺での固定衛星通信受信局の設置は極めて困難となることから、原則として使用不可とします。

○ 無線 LAN 他データ伝送

- ・ 東京 2020 大会においては、免許の要・不要にかかわらず、親機（アクセスポイントを持つベースステーション側）については、組織委員会への申請・承認が必要になります。
- ・ 無線 LAN 帯域は、競技計測・競技運営などの大会運営に重要となる多くのシステムで使用されるため、干渉などによる大会への影響防止が必要となります。
- ・ また、無線 LAN の周波数は、混信及び多数のユーザによる通信・伝送速度の低下を避けるため、必要最小限承認されることが強く求められます。組織委員会が提供する無線 LAN サービスをできるだけ利用するようにしてください。
- ・ この理由により、無線 LAN 周波数の申請は組織委員会の Wi-Fi チャンネルポリシーに合致する場合であっても否認される場合があります。

- ・ 原則、モバイルルータ（ポケット Wi-Fi、MiFi など）は、使用することができません。
- ・ 子機であっても競技会場、放送関連エリア、MPC、IBC や選手村など一部の特定エリアについては、組織委員会の承認手続きが必要となる場合があります。

○ デジタルスチルカメラの制御・データ伝送

- ・ ワイヤレスレリーズトリガーについては、一部の周波数帯域が、Type2 PMR や日本国内で運用されている既存の無線局などの周波数と重複しているため、ベニュー内での限定的な利用や他の無線局からの混信を容認する条件を課す可能性があります。
- ・ ワイヤレスファイルトランスミッターについては、無線 LAN 親機（アクセスポイント）となる機能は、使用することはできません。

4. その他

テスト&タギング、日本国内における無線機の運用については、テスト&タギングガイドを参照ください。

<https://gting.tokyo2020.org/image/upload/production/iy7hxt9stemalgbyp4i.pdf>

◆ FAQ (Frequently Asked Questions)

Q01：東京 2020 大会のベニューで無線機器を利用するためには何をすればよいでしょうか？

A01：Spectrum Order Portal より周波数利用申請をしてください。東京 2020 大会のベニューで無線機器を利用するには組織委員会からの承認が必要となります。

なお、開催都市である東京は、日本の経済の中心であり産業活動が集中し、既に多くの電波が使用されており、周波数の割当てが極めて難しい状況となっています。そのため、無線機器の利用は必要最小限となるようにお願いします。

Q02：既存の日本の免許を持っている場合でも周波数利用申請をする必要がありますか？

A02：既存の日本の免許を持っている場合でも、東京 2020 大会のベニューで無線機器を利用するためには組織委員会の承認が必要となります。Spectrum Order Portal より周波数利用申請をしてください。

Q03：Spectrum Order Portal はどこにありますか？

A03：レートカードポータルシステムの中にあります。レートカードポータルシステムの画面上部にある「Spectrum Order Portal」をクリックしてください。

レートカードポータルのアカウントを使用して申請することができます。

Q04：レートカードポータルのアカウント作成に関する問合せはどこにすればよいですか？

A04：レートカードポータルのアカウント作成に関する問合せ先は以下になります。

問合せ先：ratecard@tokyo2020.jp

Q05：周波数利用申請の申請方法を教えてください。

A05：以下の 2 通りの申請方法があります。好きな方で申請してください。

- ・ 個別申請：Spectrum Order Portal にログイン後、「Spectrum Request」画面内の「NEW」をクリックし、表示される入力フォームに必要事項を入力して申請を行う。(1 件ずつ入力して申請する)
- ・ 一括申請：スプレッドシートに必要事項を記入して電子メールで申請を行う。

(全件を一括して申請する)

Q06 : スプレッドシートはどこで入手できますか？

A06 : Spectrum Order Portal の「HOME」画面にスプレッドシートをダウンロードできるリンクがあります。そこからダウンロードしてください。

Q07 : スプレッドシート記入するときに Start Date や End Date で 2021 年を選択することができませんがどうすればよいのでしょうか？

A07 : 大会延期後用の改定されたスプレッドシートをご使用ください。

Tokyo2020_Spectrum Application form ver3.0

Q08 : スプレッドシートを記入したらどうすればよいのでしょうか？

A08 : 電子メールで組織委員会に送付してください。

スプレッドシート送付先 : spectrum@tokyo2020.jp

Q09 : スプレッドシートのファイル名は、変更しなくて良いのでしょうか？

A09 : ファイル名の先頭に組織名を追加することをお勧めします。

例 : ABCD-Tokyo2020_Spectrum Application form ver3.0

Q10 : スプレッドシートのユーザー情報は、どのような考え方で記入すれば良いのでしょうか？

A10 : レートカードポータルアカウント登録情報を記入してしてください。

Q11 : 申請数が多く、1シートでは収まりません。どのように申請すれば良いのでしょうか。

A11 : 複数のスプレッドシートを使用して申請してください。

Q12 : Olympic と Paralympic で両方の期間で使用したいのですが、どのように記載すれば良いのでしょうか。

A12 : Licence Period を Olympic、Licence Period を Paralympic にした 2 つの申請いとなるように記載してください。最初に Licence Period を Olympic とした申請を記入してください。続いて Licence Period を Paralympic とした申請を記入してください。Olympic の End Date は、2021 年 8 月 10 日、Paralympic の Start Date は、2021 年 8 月 11 日

で記載してください。スプレッドシートは、Licence Period を選択すると自動的に表示されます。さらに Applicant's Remarks 欄に"連続使用"など連続で使用することが分かる語句を記載して下さい。

Q13 : Licence Period が Olympic Ceremony、Paralympic Ceremony は、どのような申請が対象になるでしょうか。

A13 : 新国立競技場 (Olympic Stadium : OLS) で Ceremony 用途での利用が対象となります。Olympic Ceremony は、Olympic Opening Ceremony と Olympic Closing Ceremony およびリハーサルなどになります。Paralympic Ceremony は Paralympic Opening Ceremony、Paralympic Closing Ceremony とリハーサルなどになります。利用期間は、Olympic と Olympic Ceremony、Paralympic と Paralympic Ceremony で重複します。重複しますので、日時などの利用制限など運用により切り替える予定です。国立競技場 (OLS) のみが Olympic Ceremony と Paralympic Ceremony の対象となります。スプレッドシートでは、Licence Period を入力すると Location の選択リストも自動的に切り替わります。

Q14 : レコードタイプはどれを選択すればよいですか？

A14 : レコードタイプと申請する無線機種タイプとの対応は次の表のようになっています。申請する無線機種タイプに該当するレコードタイプを選択してください。

レコードタイプ	無線機種タイプ
Type A	Land mobile radio [LMR]
	Handheld radios (walkie-talkie) [HRS]
	Telemetry and telecommand [TC]
	Wireless microphone [MIC]
	In-ear monitor system [IFB]
	Talkback (Intercom) [INT]
	Wireless camera [WC]
Type B	Microwave fixed link [FL]
	Microwave mobile link [MML]

Type C	Permanent earth stations [PES]
Type D	Transportable earth stations [TES]
Type E	Wireless LAN [Wi-Fi]
Type F	Digital Still Camera [DSC]

Q15 : Handheld radios、In-ear monitor system、Talkback (Intercom)などで、複数の装置と複数の周波数を組み合わせて使用するときには、どのように記入するば良いでしょうか？

A15 : 組み合わせて使用することが分かるように連続する行に記入し、シートの右端の Applicant's Remarks に組み合わせて使用することが分かるような記載をしてください。
例 : Talkback System A-1, Talkback System A-2, Talk back System A-3

Q16 : Wi-Fi アクセスポイントは、どの会場でも申請すれば利用できますか？

A16 : 無線 LAN 帯域は、競技計測・競技運営などの大会運営に重要となる多くのシステムで使用されるため、干渉などによる大会への影響を防止が必要があります。このため、利用場所や使用可能なチャンネルが制限されます。ステークホルダーグループや利用目的によって制限内容が異なります。詳細は周波数利用申請に関する問合せ先にお問い合わせください。組織委員会が提供する無線 LAN サービスをできるだけ利用するようにしてください。なお、原則として、モバイルルータ（ポケット Wi-Fi、MiFi など）は使用することができません。

Q17:無線 LAN 帯域を使用する Wi-Fi アクセスポイント以外の無線機器はどのように申請すればよいでしょうか？

A17 : Wi-Fi 方式を利用した無線機器は、Type E で申請してください。Wi-Fi 方式を使用しない無線機器は、TypeA で申請してください。なお、原則として無線 LAN 帯域では、Wireless Camera など移動して使用する無線機器は、使用することができません。

Q18 : 無線 LAN 帯域を使用する Drone は、どのように申請すればよいでしょうか？

A 18 : Drone 用途の申請は、周波数利用申請に関する問合せ先にお問い合わせください。

Q19：デジタルスチルカメラの申請で誓約事項に同意しないとどうなりますか？

A19：申請できません。申請しても却下されます。

Q20：5GHz の Wi-Fi 機能を内蔵したデジタルスチルカメラ本体は申請が必要ですか？必要な場合は、どのように申請すればよいですか？

A20：申請が必要です。5GHz 帯の Wi-Fi 機能の子機モードのみを使用すること（2.4GHz の Wi-Fi 機能を含む他の無線機能を使わないこと）に同意いただき、申請ののち、承認された機器を使用することができます。申請にあたっては、スプレッドシートの Type F にて、次のように記載ください。

- ・「Spectrum service」の項目は「Wireless file transmitter (Digital still camera – Body)」を選択。
- ・「Declaration A agreement」の内容について「5GHz 帯以外の Wi-Fi 機能を使用しない」という意味として同意いただき、Agree を選択。
- ・Declaration C Agreement の内容について同意いただき、「Applicant's remarks」に、「Use 5GHz only in client」と記載。（「Spectrum Service」にて「Wireless file transmitter (Digital still camera – Body)」を選択した場合は、Declaration C が記載できないため、「Applicant's Remarks」欄に記載いただくことにより確認いたします。）
- ・他の各項目は、ご希望の内容を記載。

Q21：周波数利用申請の受付期間と申請結果通知のスケジュールを教えてください。

A21：以下のとおりです。

申請受付	申請受付期間	通知スケジュール
最終受付	2021年2月1日～2021年9月5日	2021年5月1日以降


Q22：周波数利用申請の結果はどこで確認すればよいですか？

A22：周波数調整が完了し、仮承認結果が出ましたら、結果通知がメールで通知されます。

仮承認結果は、SOP にログイン後、「Spectrum Request」画面からも確認できます。

Q23：周波数利用の承認手続きが不要な無線機器はありますか？

A23：承認手続きが不要な無線機器は以下になります。

- ・ 携帯電話（日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合するもの）。携帯電話に適合する IP 無線機。
- ・ 技術基準適合証明等のマーク（）が表示されている無線機器子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び 5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの。例：Wi-Fi または Bluetooth）
 - ※ 競技会場、放送関連エリア、MPC、IBC や選手村など一部の特定エリアについては、承認手続きが必要となる場合があります。
 - ※ ワイヤレスファイルトランスミッターについては、使用するエリアにかかわらず、承認手続きが必要となります。
- ・ 日本の電波法に規定する技術基準に相当する技術基準（国際標準）に適合する無線機器子機（2.4GHz 帯、5.2GHz 帯、5.3GHz 帯及び 5.6GHz 帯の周波数の電波を使用するもの）であって、日本に入国してから 90 日を超えない範囲で利用されるもの（例：FCC 認証や CE マークが表示されていて、かつ Wi-Fi Alliance または Bluetooth SIG のロゴ等が表示されているもの）
 - ※ 競技会場、放送関連エリア、MPC、IBC や選手村など一部の特定エリアについては、承認手続きが必要となる場合があります。
 - ※ ワイヤレスファイルトランスミッターについては、使用するエリアにかかわらず、承認手続きが必要となります。

Q24：周波数利用申請をしないで無線機器を利用するとどうなりますか？

A24：承認手続きが完了していない無線機器はベニユー内に持ち込むことができません。

また、他の無線通信に障害を与えた場合は、日本国内の法規制により処罰されることがあります。

Q25:周波数利用の承認手続きが不要な無線機器は、なにも手続きする必要はありませんか？

A25:無線機の形状をした機材は、会場に持ち込む際に確認対象となります。、会場に入場時の持ち込み検査で、未検査機と間違われることがあるため、受信専用機器の場合でも、タグの貼付をお勧めします。最寄りの Spectrum Desk で申請するとタグを受け取ることが出来ます。詳細は、テスト&タギングガイドを参照ください

<https://gting.tokyo2020.org/image/upload/production/iy7hxt9stemalgbyp4i.pdf>

Q26:周波数利用申請に関する問合せはどこにすればよいですか？

A26:周波数利用申請に関する問合せ先は以下になります。

問合せ先：spectrum@tokyo2020.jp